

2019.1.11 <計2枚>

草津市政記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

～SDGs の視点でまちの活性化に貢献～

地域資源を活かした近江八幡市のまちづくりを学生が提案

日時：2019年1月17日（木）13：00～16：10

場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポック立命 21

立命館大学理工学部環境システム工学科（※1）に在籍する学生 80 名は、当学科の開講科目「環境管理調査実習 I」（※2）の一環で、地域資源を活かした近江八幡市の理想のまちづくりの提案に取り組み、SDGs に照らし合わせたプランを報告会で発表します。

本授業は、市や自治体が抱える環境問題の動向を理解し、計画的に課題解決する力を身につけることを目的に実施し、2009 年から近江八幡市をフィールドに学生たちはまちづくりのプランを考案してきました。発表してきたプランに含まれるアイデアは、実際のまちづくりにも参考にされています。

今年度は、学生らが各班に割り振られた近江八幡の特定地域を対象に、現地調査から見えてきた課題を SDGs が提唱する 2030 年までに達成すべき 17 の目標を体現することや、地域資源を活かす方策を盛り込むことを意識して検討してきました。実施にあたっては、近江八幡市のまちづくり会社まっせ・近江八幡商工会議所・八幡学区まちづくり協議会・近江八幡まちや倶楽部・近江八幡観光物産協会などにフィールドワークの案内や解説などのご協力を頂きました。

提案内容は、近江八幡市の産業や農業の後継者不足や観光資源の活用などの課題に対し、特産品やコト体験、民泊などをキーワードとし、まちづくりのイメージの図解や地図を使って表現したものをポスターで発表します。発表後は、近江八幡市の関係者や本学教員、さらに学生相互に評価を行い、優秀なプランを選出します。選出されたプランは、実際に近江八幡市のまちづくりの参考とされます。

本授業を通して、SDGs に対する理解を深め、「答え」のない課題に対し、解決のアイデアを出し合い、主体的に協働作業を進めることができる学生を育成します。

記

日時：2019年1月17日（木）13:00～16:10

場所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポック立命 21

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

内容：学生 80 名が 12 班に分かれ、ポスターセッション形式による近江八幡市のまちづくりを提案

※詳細は別紙をご覧ください。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先
立命館大学広報課 担当：名和
TEL. 075-813-8300
<http://www.ritsumeai.ac.jp/>

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティー

Beyond Borders

別紙

当日のスケジュール

13:10～13:40 ポスターインデキシング

- ・各班で2つのプロジェクター(1つはスライド、1つは動画または3Dのアニメーション)を使った呼び込みプレゼンテーションを実施。

13:50～14:35 前半ポスターセッション

14:45～15:30 後半ポスターセッション

- ・A1判ポスター2枚を使った発表
 - ①SDGsに基づく2030年の枠組み
 - ②3Dで描く2030年の将来像
- ・各班は2チームに分かれて、前半・後半で発表者・聴き手となる。
- ・近江八幡のまちづくり関係者と教員は聴き手となる。

15:40～16:10 講評、優秀上位3班の表彰

※1 立命館大学理工学部環境システム工学科について

総合的な立場から環境問題に取り組むことができる技術者としての能力を養います。そのために、科学と工学の基礎を身につけた上で、環境保全技術、環境動態解析、リスク評価、物質・エネルギー循環などを系統的に学び、卒業後は環境・都市系を中心に様々な分野で活躍の場を広げています。

※2 環境管理調査実習 I について

環境問題の動向を理解(把握)し、計画的に改善する能力を教育目標とする科目。デザイン(創成)型の授業として、課題対象となる地域について、①対象地域の理解と現地調査の準備、②現地調査、③対象地域の課題整理と計画提案のアイデア出し、④計画提案の作成、⑤プレゼンテーションを行います。